



謹賀新年

令和8年の年頭にあたって

令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、当社事業につき、格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと、国内経済では、原材料価格の高止まりや慢性的な人手不足といった課題が残るものの、賃上げや設備投資の増加が見られ、景気は緩やかに持ち直しました。しかし、国際情勢の不透明感に加え、トランプ関税（政策）の行方など、経済の先行きに不確実性が残る状況となりました。

特に、金融政策においては、長らく続いた緩和策の転換に向けた動きがさらに進展し、金融界全体が大きな変革期を迎えることとなりました。

このような変化の激しい時代の中、当社が関連する信用金庫業界においては、引き

続き「地域社会の基盤」として、地元企業の事業承継や再生支援、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組み支援など、地域社会の持続的な成長と活性化に向けた「伴走支援」を精力的に展開されました。

一方、当社では、株主信用金庫との「SIS業務システム検討会議」を新たに設置し、信用金庫が抱えている課題や今後の取り組みおよび当社への要望等の情報収集を行い、新たなサービスの検討や既存サービスの改善に取り組んでまいりました。

信金業務サポート事業では、既存システムの安定稼働を維持するとともに、自動機監視サービスにおいては、ATMオートフォンで使用している回線の終息に伴う代替案として、携帯電話回線（SIMカード）を利用した「SIMオートフォンサービス」

および平日 日中帯の事故キャッシュカード等登録サービスを開始することとし、手形・小切手の全面的な電子化に伴うでんさいへの移行については、ヘルプデスクの設置に向けた検討を開始いたしました。

また、AIやDXの活用に向け長年使用してきた汎用機からオープン系基幹システムへの移行を進めるとともに、しんきん為替集中サービス（BPO）については、全国の情報サービス会社との連携により、新たに13金庫が加入し、利用金庫数は115金庫、2,816店舗となりました。

決済関連事業では、協力会社と連携し既存店舗の維持管理に努めるとともに、リアルタイム口座振替サービスにおいては、新規利用企業の受入に備え、サーバ更改の準備を進めました。

収納の取扱状況につきましては、窓口収納サービスのサーバシステム更改による基盤強化を行い、協力会社との連携のもと、取扱店舗数が9,361店舗、収納件数は年間約3,319万件、決済金額は3,310億円の取り扱い状況となりました。

当社の本年の取り組みにつきましては、昨年に引き続き「SIS業務システム検討会議」や株主信用金庫への定例訪問を通じていただいたご要望やご意見等を基に、株主信用金庫の業務効率化や経営課題の解決に

資する新たなサービスの提供に向けて取り組むとともに、当社汎用機のオープン系基幹システムへの移行を確実に実施いたします。また、決済関連事業では、既存サービスの利用推進や収納事務における決済ニーズへの対応を進めてまいります。

同時に、重要課題であるリスク管理態勢についても、昨年実施したペネトレーションテストにおいて重大な脆弱性が認められないことを確認いたしましたが、日々高度化するサイバー攻撃の脅威に備え、システムリスク管理および委託先管理の更なる強化、サイバーセキュリティ対策の実施状況の明確化を図るとともに、ICT・DX人材の育成強化や、生成AI等の最新技術の調査研究にも積極的に取り組んでまいります。

当社は、この一年、業界の情報サービス会社としての使命を改めて深く認識し、常に高品質かつスケールメリットを活かした安価なサービスの安定提供に努め、株主信用金庫のご期待に一層応えていく所存でございます。引き続き、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

最後になりますが、この一年が株主信用金庫・関連団体・関連各社ならびに役職員の皆様にとりまして、実り多き、飛躍の一年となりますように、心からお祈り申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役会長 矢澤孝太郎
(亀有信用金庫 理事長)

代表取締役社長 飯吉真



「第2回 SIS業務システム検討会議」の開催

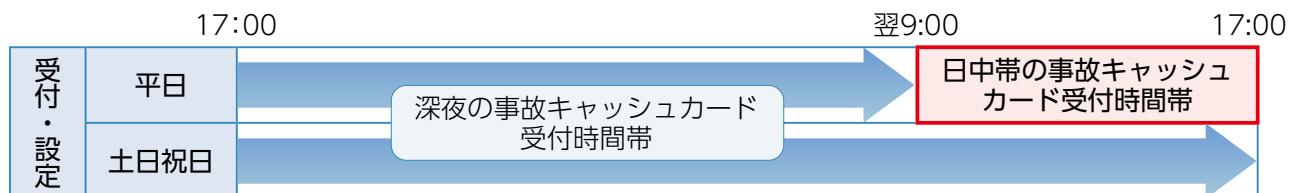
11月14日「第2回 SIS業務システム検討会議」を開催しました。今回は、前回からの検討事項の進捗を共有するとともに、来年度のしんきん共同センター基幹系システム更改に伴う、オンライン休止の顧客周知の当社の対応を説明し、参加金庫よりご意見をいただきました。また、参加金庫のご要望を受け、特定のテーマについてフリーディスカッションを行い、金庫相互の貴重な情報交換の機会にすることことができました。

議題	
●前回からの検討状況	●しんきん共同センター基幹系システム更改 (オンライン休止) に係る当社の対応案について
・ヘルプデスクサービス（でんさい／しんきん自動集金） ・BPOサービス（税公金事務） ・その他（ホスティング／ノーコード（Power Egg）導入支援）	●フリーディスカッション ・手形小切手の廃止に向けた各金庫の対応状況 ・預金口座振替の新規取り扱いについて ・非対面チャネルの活用について

平日 日中帯の事故キャッシュカード等登録サービスの開始

信用金庫に代わって、平日 日中時間帯（9時～17時）に紛失盜難専用電話からの事故受付、注意コード設定まで行う新サービスを開始します。これにより、営業店職員の事務負担を軽減、コア業務に専念できる環境を提供します。

■ご利用イメージ



■サービス利用料金

口座開設店1店舗につき 月額1,000円（税別）

■サービス開始日

令和8年4月1日より

(注) 「104からの事故カード等受付サービス」は、NTT番号案内サービス終了に伴い、令和8年3月末をもって終了となります。

しんきん共同センター基幹系システム更改 顧客周知に係る対応について

令和9年1月の基幹系システム更改のオンライン休止に伴う顧客周知につきまして、当社では、以下の対応を予定しております。

【対応内容】

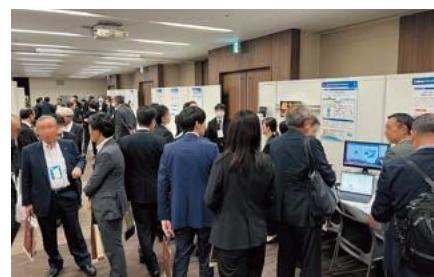
- ・ポスター、チラシ等のデータ無償配布
 - ・顧客宛通知DMの作成、発送
 - ・カード発行サービスによるチラシ封入
 - ・ATMコーナー設置用POPの無償配布

※詳細が決まり次第、所管部署より改めてご案内する予定です。

第12回 業務ソフト・情報システム展示会 盛況裡に終了

【開催】10月23日／来場者数 435名

去る10月23日に「第12回 業務ソフト・情報システム展示会」を品川フロントビル会議室にて開催いたしました。今回は、新キャッチフレーズ「つながる、よりそう、深く知る」に沿って、信用金庫の実情に合わせたAI活用やサイバーセキュリティ対策を中心に、過去最多となるメーカー21社42のシステム・サービスを展示し、今後の情報システム戦略について、大変参考になった等ご好評をいただきました。



会場の様子

第24回 自動機監視サービス ユーザー会 オンライン開催

今年度は、12月9日（火）にオンライン開催し、ご好評を賜りました。

■講演

「信用金庫の今後の店舗戦略について」

日立チャネルソリューションズ株式会社

ソリューション推進本部 部長 茂木 良樹 氏

■状況報告・説明

- 自動機監視サービスの利用状況・年末年始のお願い
- 新サービスのご案内
 - ・平日 日中帯の事故キャッシュカード等登録サービス
 - ・SIMオートフォンサービス
- しんきん共同センター基幹系システム更改における
自動機監視サービスの対応について



講演者：茂木 良樹 氏

◆出席者 62金庫 7団体 122名

今後のスケジュールについて

今後の主なイベント情報についてお知らせいたします。なお、各イベントの詳細につきましては、別途ご案内文書をご確認ください。

日程	イベント名	会場
1月16日（金）	令和7年度しんきん情報研究会	東京コンファレンスセンター品川
2月19日（木）	第12回リスク管理態勢説明会	東京コンファレンスセンター品川
10月22日（木） 10月23日（金）	しんきんコミュニケーションフェア2026	東京流通センター（TRC） 第一展示場 CDホール

※上記日程ならびに開催形式については、諸般の事情により、やむなく変更になる場合もございます。

SIS ニュース No.70 2026年1月5日発行

株式会社 しんきん情報サービス <https://www.shinkin-sis.co.jp>

〒108-0075 東京都港区港南1-8-27 日新ビル12階
総務部 Tel.03-5462-7081

